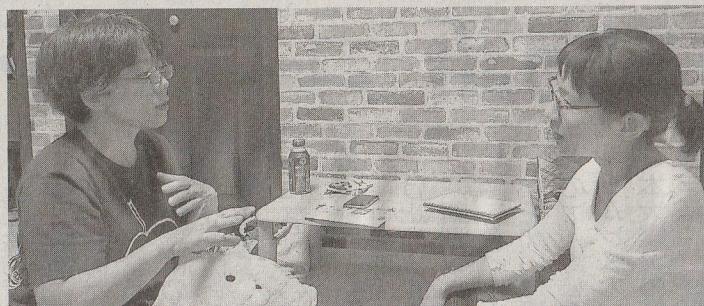


群 馬

ろうの監督とアスペルガーの友

「友達やめた。」記録映画



映画の一場面。それぞれの
思いを手話で語り合う今村
彩子監督(右)とまあちゃん
ん ©2020 Studio AYA

あすから前橋で上映

耳の聞こえない映画監督の今村彩子さん(41)=名古屋市=が、アスペルガー症候群の友人との関係に悩みながら、自らにビデオカメラを向けて交友風景を撮影した。

新作のセルフドキュメンタリー「友達やめた。」が21日から、前橋市千代田町5丁目の前橋シネマハウスで上映される。

映画が描くのは、生まれつき耳が聞こえない「わたし」(今村さん)と、アスペルガー症候群の友人で小学校で給食の調理をしていた「まあちゃん」の、ありのままの日常の光景だ。家も年齢も近く、手話の方が話しやすいという共通点もあって距離が縮まっていく。だが、付き合いが深まる中で「わたし」は「まあちゃん」のささいな言動に違和感を覚えるようになって――。

映像には2人以外はほとんど映らない。三脚も極力使わず、カメ

ラは机や台の上に置いた。お互いに気持ちをぶつけ合う時は、「わたし」も「まあちゃん」もカメラに収まるように向き合った。タイトルの「友達やめた。」は、けんかの最中に「わたし」がノートに記した言葉だ。

「これからも、まあちゃんと『友達』→『友達やめた。』→『やっぱり友達』というのを繰り返していくのかも。まあちゃんと同じ景色で違うものを見て、違いを感じて、そのことに驚いたり、笑ったり、泣いたり、妥協したりしていくのだろう」と今村さん。

上映は12月4日までの午前10時20分からと午後1時半からの各2回。22日午前の部の終了後には今村さんが舞台あいさつをする。22日午後の部後には「群馬子どもサポート だるまの会」代表の原真理子さんと今村さんのトークイベントもある。問い合わせは配給会社リガード(090・6187・7110)へ。(本田直人)

多様性 葛藤し共に生きる